

RO濃縮水処理完了について

東京電力株式会社
2015.5.28



東京電力

RO濃縮水処理の完了について

- 一日も早いリスク低減に向けて、多核種除去設備をはじめ、RO濃縮水処理設備、モバイル型ストロンチウム除去装置、セシウム吸着装置と第二セシウム吸着装置により、汚染水の処理を進めてきた結果、汚染水の処理は3月末時点で約8割が終了し、タンク起因の敷地境界の実効線量1mSv/年未満については2014年度末に達成
- その後も汚染水の処理を進めてきた結果、タンク底部の残水を除き、5/27にRO濃縮水の処理が完了。
- なお、多核種除去設備以外で処理をした「ストロンチウム処理水」や、多核種除去設備で処理した水のうち、過去の装置トラブル時に処理性能が低下した際の処理水については、計画的に再度処理を行っていく。
- また、設備上、タンク底部に残る本設ポンプで汲み上げ切れない残水については、タンク解体に向けて、およそ1年程度をかけて仮設ポンプでの水抜き・処理を行い、一層のリスク低減を図る。

既設多核種除去設備の点検停止について

- 既設多核種除去設備はトラブルによる長期停止があったものの、2年以上処理を継続しており、今後のS r 処理水の処理に万全を期すため、点検手入れ及び性能向上のための吸着塔増塔工事を実施予定
- 腐食対策で採用したガスケット型犠牲陽極の交換を実施する予定だが、対象箇所数が非常に多く（約600箇所※／系統）、本作業がクリチカルとなり、停止期間は数カ月になる見込み（工程精査中）。

※点検により交換必要なガスケット数を評価予定

<主な実施予定項目>

- ・ ガスケット型犠牲陽極交換
- ・ ゴムライニング点検
- ・ 動的機器点検
- ・ 系統内洗浄（除染）
- ・ 吸着材交換
- ・ 増塔工事 等